

だい 第 11 しょう 章

てい ちやく し えん 定着支援

もく てき 【目的】

- てい ちやく し えん もく てき てい ちやく し えん め ざ じょうたいぞう し
☒ 定着支援の目的と、定着支援が目指す状態像を知る
- てい ちやく し えん き たい てん ふ あんてん あら だ
☒ 定着支援で期待したい点と不安点を洗い出す

おも しゅるい 主なワークの種類



グループワーク

じゅこう び 受講日①	じゅこう び 受講日②	じゅこう び 受講日③
..... / () / () / ()

ていちゃく し えん 定着支援

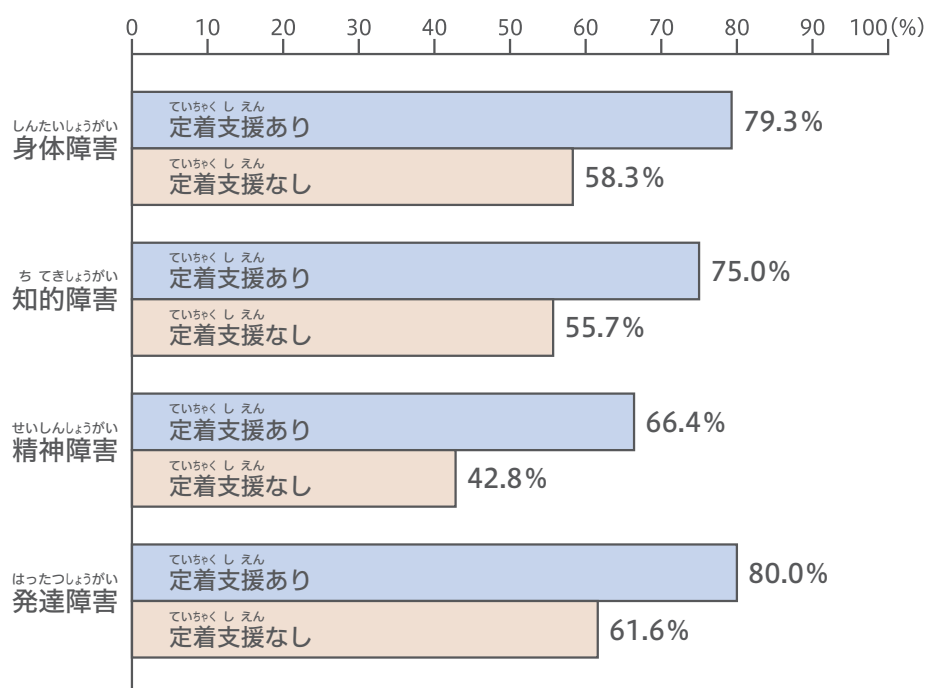
1 しょうがいしゃそうごう し えんほう ていちゃく し えん 障害者総合支援法における定着支援とは

しょうがいしゃそうごう し えんほう さだ ふく し
障害者総合支援法で定められている福祉サービスには、
げんざいみな り よう しゅうろう い こう し えん じ ぎょう ほか
現在皆さんが利用している就労移行支援事業の他に、
ねん がつ ていちゃく し えん じ ぎょう しんせつ
2018 年 4 月より定着支援事業が新設されました。
しゅうしよく か げつ い ない しゅうろう い こう し えん じ ぎょうしよ ていちゃく し えん おこな
就職から 6 ヶ月以内は就労移行支援事業所が定着支援を行い、
ご おな うんえい ていちゃく し えん じ ぎょう り よう
その後は同じく LITALICO ワークスが運営する定着支援事業を利用し、
ていちゃく し えん う さいだい ねんかん
定着支援を受けることができます。(最大 3 年間)

2 ていちゃく し えん もくてき 定着支援の目的

ていちゃく し えん もくてき みな しよく ば ていちゃく
定着支援の目的は、皆さんの職場定着です。
した ていちゃく し えん じっし ば あい ていちゃく し えん じっし ば あい しよく ば ていちゃくりつ ず
下は定着支援を実施した場合と定着支援を実施しなかった場合の職場定着率の図です。

しゅうしよく ご ていちゃく し えん う む べつ み か げつ ご しよく ば ていちゃくりつ
就職後の定着支援の有無別に見た 12 ヶ月後の職場定着率



しゅうてん しょうがいしゃしよくぎょうそうごう しょうがいしゃ しゅうぎょうじょうきょうなど かん ちゅう さ けんきゅう ちゅう さ けんきゅうほうこくしよ
出典：障害者職業総合センター「障害者の就業状況等に関する調査研究 調査研究報告書 NO.137」

3

ていちゃく し えん おこな つぎ じょうたい め ざ
定着支援を行うことにより、次の2つの状態を目指していきます。

1. 職場とメンバーの相互理解ができている状態

よくば じゅうごういん みな
職場の従業員と皆さんにとって、

あんしん はたら かんきょう そうほう たち ば
安心して働く環境をつくるためには、双方の立場や

かん り かい たいせつ
感じていることを理解することが大切です。

く たいてき そう ご り かい ないよう
具体的に相互理解したい内容とは、

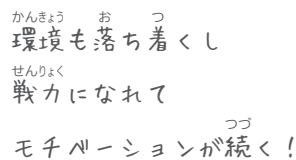
こま
「どんなことに困っているのか」

はいりょ ひつよう
「どんな配慮が必要か」などがあります。



2. 本来の力が活かされる環境

ていちやく し えん じやく ば そう ご り かい そくしん
 定着支援によって職場とメンバーの相互理解を促進することで、
 みな ほんらい ちから い かんきょう め ざ
 皆さんが本来の力を活かせる環境を目指しています。
 ていちやく し えん みな はたら かんきょう し ぜん ひつよう し えん
 そのため、定着支援では皆さんが働く環境において自然と必要な支援や
 う じょうたい かいにゅう おこな
 サポートを受けている状態にするための介入を行います。



4 ナチュラルサポートとは

みな はたら かんきょう し ぜん ひつよう し えん
皆さんが働く環境において、自然と必要な支援・サポートを

う じょうたい し えんしゃ しよく ば じゅうぎょういん
受けている状態をつくるために、支援者は、職場の従業員が

しょうがい り かい ふか かいにゅう し えん おこな
障害について理解を深められるように介入し、支援を行います。

しよく ば じゅうぎょういん しょうがい り かい ど し えんりよく たか
職場の従業員の障害の理解度や支援力を高めることを「ナチュラルサポート」といい、

し えんしゃ じょうきょう み ちよくせつ し えん かいにゅう ど さ
支援者は状況を見つつ、メンバーへの直接支援の介入度を下げていきます。

し えんしゃ ちよくせつ し えん みな しゅう い もと
また、支援者による直接支援は、皆さんが周囲にサポートを求めたり、

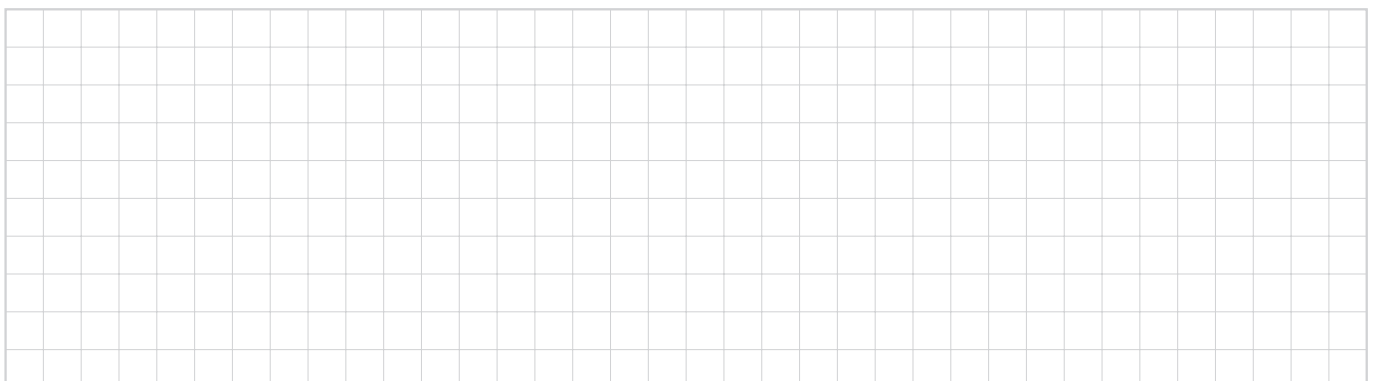
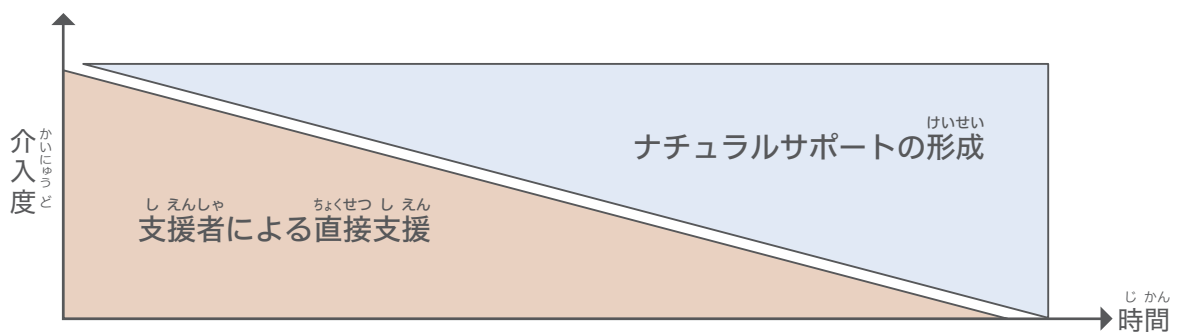
こま じ ぶん たいしよ
困りごとを自分で対処するスキルをつけたりするためでもあります。

ていちやく し えん じ ぎょうしよ
なお、定着支援事業所においては、

みな じ りつ じょうたい あんてい はたら
皆さんが自立できた状態で安定して働くことができているか、

なに こま てい き てき かくにん つぎ ど てい ど
何か困ったことがないかを定期的に確認していきます。(月に1度程度)

ナチュラルサポートのイメージ図



じっさい たいちゃく し えん じ れい み
実際にあった定着支援の事例を2つ見てみましょう。

じ れい たいじんかんけい し えん 事例1 対人関係の支援

じょうきょう Aさんの状況

おな ふしよ しゃいん ぎょうむ し どう う
Aさんは同じ部署の社員から業務指導を受けていましたが、
ふた り じょう
二人のコミュニケーション上においてトラブルがあり、
おな かんきょう し ご と つら じょうきょう
同じ環境で仕事をするのが辛い状況になっていました。
なや し えんしゃ そうだん
悩んでいたAさんは支援者へ相談をし、
めんだん くわ ないよう はな
面談で詳しい内容を話しました。



おこな し えん かいにゅう 行った支援・介入

そうだん う し えんしゃ つぎ し えん おこな
相談を受けた支援者は、次の支援を行いました。

- し えんしゃ き ぎょう げんじょう ほうこく おこな
● 支援者から企業へ、Aさんの現状の報告を行った
- ほんにん つら けいげん そうだん ぎょうむ たんとうしゃ へんこう き
● ご本人の辛さがどうしたら軽減できるか相談し、業務担当者の変更が決まった
(担当者の変更は自由にできるということではなく、そうなる前に上司に相談したり、
コミュニケーションの取り方を変えてみたりすることも大切です。)

こう か 効果

ぎょうむ し どう べつ たんとうしゃ へんこう
業務指導を別の担当者に変更したことで、
Aさんのストレスの軽減に繋がりました。
し ご と しゅうちゅう
また、仕事に集中できるようになり、
き ぎょう しゅうぎょう じ かん えんちよう だ しん
企業からも就業時間の延長を打診されるほど
かつやく
活躍することができました。



Bさんの状況

Bさんは業務をなかなか覚えられないと日頃から感じていました。

また、夜勤のため生活リズムにも変化があり、

体調が思わしくない日が続いていました。

Bさんは、支援者に「退職したい」と

定期面談で相談するようになりました。



行った支援・介入

相談を受けた支援者は、主に次の3つの支援を行いました。

① 本人・支援者・上司の3者面談を実施

- 体力面の心配と業務を覚えられない不安があることを、ご本人と一緒に上司に伝えた
- ご本人の不安が軽減するよう、業務を覚えるスピードは気にせず、
ゆっくりやってもよいことを上司から伝えてもらった

② 通院同行を実施

- 主治医から「夜勤からくる生活リズムのズレがストレスとなり体重の増加があるが、
体調不良の大きなサインではない」ということをご本人と確認した
- 今後は通院回数を増やし、主治医に話すことで
体調不良のサインを逃さないようにすることも3者面談で確認した

③ 家族面談を実施

- 体調の管理をしながら働くために、ご家族に生活リズムのサポートをお願いした

効果

上司・主治医・家族と連携し、それぞれからアドバイスやサポートを受けたことと、

自分の胸の内を話したことで、ご本人が気持ちを整理することができました。

結果、仕事を続けるモチベーションが持続され、ネガティブな理由の退職を
避けることができました。

LITALICO ワークスの^{ていちゃく し えん}定着支援では、

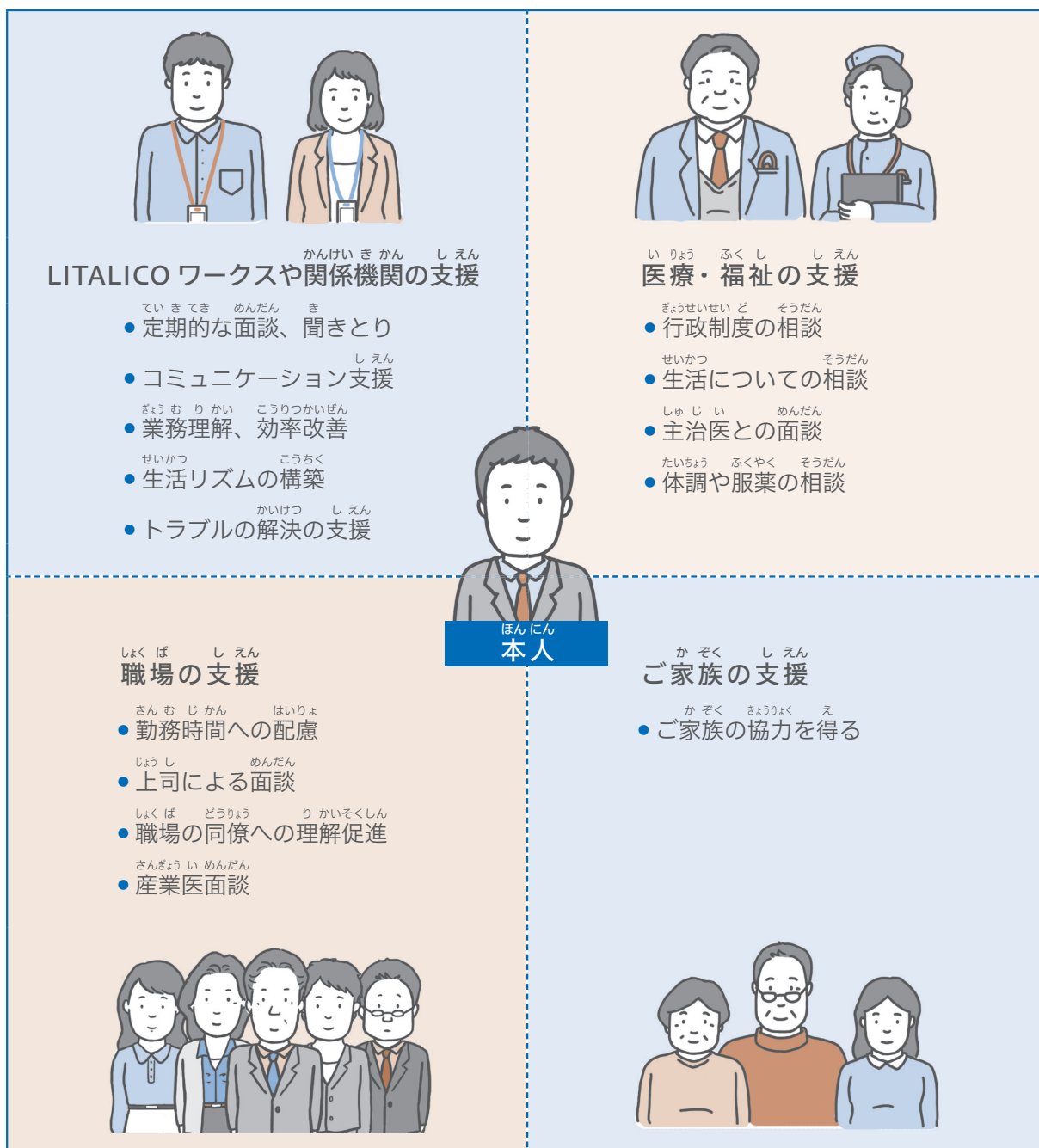
必要に応じて関係機関やご家族との連携も行い、安定就労の基盤づくりをしています。

例えば、次のような関係機関があります。

(例) 地域の就労支援センター、就業・生活支援センター、障害福祉課、保健所、

障害者職業センター、ハローワーク など

れんけい ていちゃく し えん れい 連携をとった定着支援の例





グループワーク

ていちゃくし えん き たい ふ あん い けんこうかん
定着支援において、期待したいことや不安があることなどを意見交換しましょう。

① ていちゃくし えん き たい 定着支援で期待したいこと

② ていちゃくし えん かん ふ あん 定着支援に関して不安なこと

おわりに

就労支援と同様に、定着支援もその方にあったサポートを行います。

企業見学や体験実習に参加することにより就労のイメージができれば、

自分^{じぶん}なりの受け^うたいサポ^{かんが}ートを考^{かんが}えてみま^{かんが}しょう。

自分にとって働きやすい環境がどのような環境か、

ひ　　ごろ　　　　　　　　　　はな　　　　　　　　　　たいせつ
日頃からスタッフと話しておくことも大切です。

ほんじつ まな き あす じっせん
今日の学び・気づき・明日から実践できそうなこと

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.